



全国釣竿公正取引協議会

第37回定時総会 議事録

1. 資料送付日 令和3年5月12日(水)
2. 開催日 令和3年5月27日(木) 15:15~16:20
3. 開催方法 委任状もしくは議決権行使書を提出いただき、オンライン会議システム(ZOOM)による傍聴
4. 会員数 63社
5. 定時総会の成立
会則第18条第1項に基づき、過半数(出席者数 53社(委任状 34社、議決権行使書 19社))が出席しているため、第37回定時総会は有効に成立した。
6. 議長選出
会則第18条3項に基づき、藤井 治幸 会長が就任した。
7. 議事録署名人選出
会則第23条に基づき、藤井 会長、出席者より塩澤 直人 理事、橋本 俊哉 会計理事の3名を選出した。
8. 議事の経過の要領及び議案別の議決結果
(以降、頁数は定時総会資料の該当部分である)
第1号議案 第37期(令和2年度)事業報告について
議長の指名により、事務局が第1号議案の説明を行った。
1-1 庶務事項 6頁~11頁・24頁
 - ①会員数 64社 入退会なし
※5月27日(木)開催第165回理事会にて、1社退会の報告を行ったため、第37回定時総会議決権総数は63社である。
 - ②認定書発行業務 新規認定227件、追加認定83件(合計330件)
 - ③公正マーク頒布事業 公正マーク 1,190,000枚
警告表示マーク 14,000枚
公正・警告表示マーク 197,500枚
 - ④会議開催回数 8回
定時総会1回、理事会4回、総務委員会2回、調査指導委員会1回
- 1-2 広報・宣伝に関する事業 12頁~14頁
 - ①女性アングラを起用した釣竿公正マーク周知広報ポスターを制作し会員企業の皆様のご協力により、日本全国の釣具店様、釣り宿店様、釣り船店様、管理釣り場様等に配布掲示を行った。(春夏・秋冬各5,000枚 合計10,000枚)
 - ②業界紙(釣具界・日本釣具新報・釣具新聞)や釣り雑誌(つり人、週刊つりニュース関東版、釣り画報、釣ファン、つり情報、つり丸、ルアーマガジン、へら鮒)、インターネット釣り情報サイト(TSURI HACK)の12媒体に広告を出稿した。



- ③オンラインフィッシングショー（釣りフェスティバル）に出展を行った。女性アングラを起用したオンラインフィッシングショー向けの動画を作成した。動画再生回数は開催期間中のべ393回であった。
- ④1月22日（金）から2月24日（木）まで、釣竿公正マークについてのアンケートを実施した。回答数は1,094件であった。公正マークの認知度は、年々上昇しており、釣竿公正マーク付の釣竿について79%の回答者が「信頼できる」「メーカーや販売元が明らかな釣竿」であると認識している。一方で購入する際に釣竿公正マークを参考にするかとの問いに対しては、参考にするが55%、参考にしないが45%となった。アンケート回答者には公正マーク付きノベルティグッズなどをプレゼントし、当選者の一部はSNSで公正マークを紹介していた。
- ⑤会員企業の皆様のご協力で、18社が11月30日11時30分に各社SNSにて一斉に公正マークを投稿した。

1-3 調査指導に関する事業 15頁

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、本年度はオンラインで調査指導委員会を開催し、会員対象調査・店頭調査は中止した。引き続き釣竿の表示に関する公正競争規約の遵守や、必要表示事項を表示するポイント等をまとめた文書を全会員へ送付した。
釣竿の繊維含有率検査を中止した。

議長が事務局に議決権の確認を行ったところ、議決権総数63、委任状及び議決権行使書53、議決権行使書はすべて賛成であり、第1号議案は承認された。

第2号議案 第37期(令和2年度)決算報告について

議長の指名及び橋本 俊哉 会計理事の指示により、事務局が第2号議案の説明を行った。

2-1 貸借対照表・正味財産増減計算書 26頁・27頁

- ①貸借対照表 流動資産合計は、24,299,407円
資産合計は、40,546,179円
未払金は、2,998,016円
- ②正味財産合計金額（貸借対照表）と正味財産期末残高（正味財産増減計算書）が37,548,163円で一致している。

2-2 収支計算書 29頁

- ①事業活動収支計 22,380,279円
(対予算比109%、対前年増減率106%)
- ②事業活動支出計 19,276,495円(対予算比88%、対前年増減率85%)
(事業費支出) 12,872,037円(対予算比90%、対前年増減率87%)
(管理費支出) 6,404,458円(対予算比83%、対前年増減率80%)

- ③事業活動収支差額 3,103,784 円
(対予算比-204%、対前年増減率-185%)
④次期繰越収支差額は、18,884,801 円となった。

議長が事務局に議決権の確認を行ったところ、議決権総数 63、委任状及び議決権行使書 53、議決権行使書はすべて賛成であり、第 2 号議案は承認された。

第 3 号議案 第 37 期(令和 2 年度)監査報告について

議長の指名により、玉越 和夫 監事が第 3 号議案の説明を行った。

令和 3 年 4 月 22 日(木曜日)に提出された令和 2 年度決算報告書(すなわち収支計算書、貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記及び財産目録)を玉越 和夫 監事及び姫野 哲司 監事が監査した結果、いずれも適法かつ適正と承認した。

議長が事務局に議決権の確認を行ったところ、議決権総数 63、委任状及び議決権行使書 53、議決権行使書はすべて賛成であり、第 3 号議案は承認された。

第 4 号議案 第 38 期(令和 3 年度)事業計画(案)について

議長の指名により、事務局が第 4 号議案の説明を行った。

4-1 釣竿の表示に関する公正競争規約と施行規則等に関する事業 34 頁

①規約を遵守することは表示のコンプライアンスにつながることを呼び掛けていく。

4-2 公正マークの管理に関する事業 34 頁

①海外における公正マークの商標権につき専門家の助言を得ながら適切な管理を行う。

4-3 広報・宣伝に関する事業 34 頁・35 頁

①これから釣りを始める人向けにも公正マークを認知していただけるような広告を検討する。(公式 SNS の運用を含む)

②公正マークの同日同時刻 SNS 一斉投稿を、会員企業の皆様に実施をお願いする。

③女性アングラマーを起用したポスターを継続発行する。

4-4 調査指導に関する事業 36 頁

①調査事業への参加率向上を働きかける。

議長が事務局に議決権の確認を行ったところ、議決権総数 63、委任状及び議決権行使書 53、議決権行使書はすべて賛成であり、第 4 号議案は承認された。

第5号議案 第38期(令和3年度)収支予算書(案)について

議長の指名により、事務局が第5号議案の説明を行った。

なお、本収支予算書(案)は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮していない。

①事業活動収入合計	22,356,000円	(対令和2年度決算額100%)
②事業活動支出合計	23,240,000円	(対令和2年度決算額121%)
(事業費支出)	15,450,000円	(対令和2年度決算額120%)
(管理費支出)	7,790,000円	(対令和2年度決算額122%)
③事業活動収支差額	-884,000円	(対令和2年度決算額-28%)
④次期繰越収支差額	17,000,801円	(対令和2年度決算額84%)

議長が事務局に議決権の確認を行ったところ、議決権総数63、委任状及び議決権行使書53、議決権行使書はすべて賛成であり、第5号議案は承認された。

第6号議案 任期満了に伴う役員改選について

議長の指名により、藤井治幸 総務委員長及び事務局が、第6号議案の説明を行った。

令和3年度・4年度の当協議会役員(理事・監事)について、3月10日(水曜日)に開催した役員選考委員会(第13回総務委員会)において下記の通り14名を第37回定時総会に提案することを決定した。

【理事 12名】

藤井 治幸 氏(再任) 株式会社がまかつ 代表取締役社長

鈴木 隆 氏(再任) 株式会社リチャーズ 代表取締役

橋本 俊哉 氏(再任)

株式会社エバーグリーンインターナショナル 代表取締役

鈴木 健一 氏(再任) 株式会社上州屋 代表取締役社長

塩澤 直人 氏(再任) 株式会社天龍 代表取締役社長

櫻井 孝行 氏(再任) 櫻井釣漁具株式会社 代表取締役社長

谷山 令一 氏(再任) 谷山商事株式会社 代表取締役社長

宇崎 隆 氏(再任) 株式会社宇崎日新 代表取締役社長

加藤 慶太 氏(再任) 株式会社ジャクソン 代表取締役社長

鈴江 浩康 氏(再任) グローブライド株式会社 常務取締役

高田 務 氏(新任) 株式会社シマノ 品質管理部 次長

小松 智昭 氏(再任) 一般社団法人日本釣用品工業会 専務理事

【監事 2名】

玉越 和夫 氏(再任) 株式会社スミス 専務取締役

姫野 哲司 氏(再任)

株式会社ティムコ フィッシング部 企画開発課長

なお、保井 利彦 理事は、本総会をもって退任された。

議長が事務局に議決権の確認を行ったところ、議決権総数 63、委任状及び議決権行使書 53、議決権行使書はすべて賛成であり、第 6 号議案は承認された。

ここで、議長が第 37 回定時総会を一時中断し、新役員を臨時理事会に招集した。

臨時理事会閉会后、議長は第 37 回定時総会を再開した。

第 7 号議案 当協議会内役職について<報告事項>

議長が、臨時理事会において決定した令和 3 年度・4 年度の当協議会内役職（会長、副会長、専務理事、会計理事）を報告した。

会長	藤井 治幸 氏（再任）株式会社がまかつ 代表取締役社長
副会長	塩澤 直人 氏（新任）株式会社天龍 代表取締役社長
専務理事	小松 智昭 氏（再任） 一般社団法人日本釣用品工業会 専務理事
会計理事	橋本 俊哉 氏（再任） 株式会社エバーグリーンインターナショナル 代表取締役


以上をもって第 37 回定時総会の全部の議案の審議が終了したため、議長は第 37 回定時総会の閉会を宣言した。

令和3年5月27日

上記の議決を確認するため議長及び議事録署名人は次に署名、押印する。

全国釣竿公正取引協議会 第37回定時総会


議長理事 会長 藤井 治幸

藤井治幸 

議事録署名人 副会長 塩澤 直人

塩澤直人 

議事録署名人 会計理事 橋本 俊哉

橋本俊哉 

——以下余白——